

早急に取り組むべき原子力対策案に 対する意見と回答

平成 25 年 2 月 21 日

篠山市原子力災害対策検討委員会

早急に取り組むべき原子力災害対策に係る対策案に対する意見

委員名	委員からの意見	委員の意見に対する篠山市の考え方
A 委員	<p>安定ヨウ素剤の購入は、国の基準を待たず実施すべき</p>	<p>服用の対象者、服用量などの基準が国から示されることになっているため、それを参考にしながら市の備蓄量を決める方がよいとの学識経験委員の意見を参考に、国の基準を踏まえ委員会でも検討を行った上で、補正等により財源措置を行い対応したいと考えています。</p> <p>それまでの間は、兵庫県を通じた自治体間の災害応援による対応や篠山市医師会及び篠山市薬剤師会などの協力を得ながら流通備蓄により対応したいと考えています。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングカーの購入が必要 ・土壌・水・農作物などを測定するため、検査機関の活用 	<p>モニタリングカーは、近隣では京都府が国庫補助（100%補助）により3台を整備されており、購入費用が一台当たり約2,500万円、維持経費が約1,000万円/台・年程度必要となります。篠山市の財政規模からすると、市単独費で購入するには非常に負担が重いため、放射線測定器の整備により対応していきたいと考えています。また、丹波県民局管内には、県所有のモニタリングポスト（国の100%補助・設置費用約1,000万円/台、維持費用約100万円/台年）が設置してあり、リアルタイムで一般の市民の方にも放射線量が分かるようになっていますので、当面は、こうした設備も活用しながら対応していきたいと考えています。</p> <p>今後、緊急時を考えたときに、土壌・水・農作物などの放射線量の測定を行うことができる検査機関をあらかじめ把握しておく必要があると考えています。現在も、緊急時には水質検査の項目に放射線測量検査も含めており、検査体制の構築及び予算の計上も行われています。農作物についても、昨年度は放射線の検査の実績も積んでいます。また、学校給食についても、今年度11月</p>

委員名	委員からの意見	委員の意見に対する篠山市の考え方
		<p>から4か月間においても、摂取後になりますが、毎日の給食に対する放射線検査も実施しています。</p> <p>検査を行う機関・企業は、県内にも多数あり、検査に係る経費は、1検体15,000円程度（検査期間は1-2日程度）必要となりますが、こうした経費は、災害時に緊急的に財政措置を行い対応していきたいと考えています。</p>
	行政内部の研修を実施すべき	<p>平成24年度も職員への放射線に対する研修を実施する方向で進めています。平成25年度以降も、放射線に対する防災対策の研修や避難訓練の実施に向けた研修会等も検討していきたいと考えています。</p>
	防護服、マスク等の整備すべき	<p>放射線防護服（上下、靴、手袋、マスク一式）は、一人分約30,000円前後で、使用期限が3年間程度となっています。放射線専用ものではありませんが、防護服500人分備蓄できていますので、当面はこれを活用していきたいと考えています。今後の検討委員会の中で、議論を深めていければと思います。</p> <p>災害時に防護服が不足した場合については、災害応援協定を締結している自治体や民間企業との連携により応援を求めていきたいと考えています。</p>
	非常用連絡手段として衛星携帯電話の整備すべき	<p>ご意見を頂いているとおり、本庁、各支所及び西紀北小学校、後川複合教育施設に衛星携帯を配備しています。</p>
	市独自の避難基準を設定すべき	<p>早急に行うべき対策案は、当初予算の編成との調整が必要な対策を先にあげたものですので、次の段階として、避難対策についても、国の基準を参考にしつつ、市独自の避難対策を検討していくことで考えています。</p>

早急に取り組むべき原子力災害対策に係る対策案に対する意見

委員名	委員からの意見	委員の意見に対する篠山市の考え方
B委員	放射線防護のためのとろろ昆布による防護手段について	とろろ昆布が放射線ヨウ素に効果があるというのは、程度の差は別として、事実のようですので、放射線の防災学習などの時に豆知識として、市民の皆さんに知っていただくことは有益であると考えますので、これからの防災学習会の折に紹介していきたいと考えます。
	放射線自動測定器の設置について	リアルタイムに放射線量が分かるモニタリングポストは、兵庫県内でも6箇所設置してあります。モニタリングポストの設置費用は、一基1,000万円程度（国100%補助）と大変高価なものであるため、篠山市の財政規模からすると、非常に負担が重いため、放射線測定器の整備により対応していきたいと考えています。また、丹波県民局管内には、モニタリングポストが設置しており、リアルタイムで一般の市民の方にも放射線量が分かるようになっていますので、当面は、こうした設備も活用しながら対応していきたいと考えています。また、ホームページを見られない市民の方にも伝えられるように、防災行政無線や職員による連絡員制度などを活用して速やかに伝えていきたいと考えています。

早急に取り組むべき原子力災害対策に係る対策案に対する意見

委員名	委員からの意見	委員の意見に対する篠山市の考え方
C委員	<p>安定ヨウ素剤の購入は、国の基準を待たずに検討を進めるべき。</p>	<p>服用の対象者、服用量などの基準が国から示されることになっているため、それを参考にしながら市の備蓄量を決める方がよいとの学識経験委員の意見を参考に、国の基準を踏まえ委員会でも検討を行った上で、補正等により財源措置を行い対応したいと考えています。</p> <p>それまでの間は、市の診療所、篠山市医師会及び篠山市薬剤師会などの協力を得ながら流通備蓄により対応したいと考えています。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・放射線測定を毎日1回行う ・土壌・水の定期的な検査の経費 	<p>丹波県民局管内には、モニタリングポストが設置してあり、リアルタイムで一般の市民の方にも放射線量が分かるようになっていっていますので、当面は、こうした設備も活用しながら対応していきたいと考えています。平時は、毎月1回程度の測定を行いながら、原子力災害が発生した時、近隣の放射線量が高い値を示した時などは、測定の頻度を高めて対応していきたいと考えます。</p> <p>今後、緊急時を考えたときに、土壌・水・農作物などの放射線量の測定を行うことができる検査機関をあらかじめ把握しておく必要があると考えています。</p> <p>今後、緊急時を考えたときに、土壌・水・農作物などの放射線量の測定を行うことができる検査機関をあらかじめ把握しておく必要があると考えています。現在も、緊急時には水質検査の項目に放射線測量検査も含めており、検査体制の構築及び予算の計上も行われています。農作物についても、昨年度は放射線の検査の実績も積んでいます。また、学校給食についても、今年度から摂取後になりますが、毎日の給食に対する放射線検査も実施しています。</p> <p>検査を行う機関・企業は、県内にも多数あり、検査に係る経費は、</p>

委員名	委員からの意見	委員の意見に対する篠山市の考え方
	<ul style="list-style-type: none"> ・防災学習は、参加型ワークショップで行う ・防災学習会を各校区で行う 	<p>1 検体 15, 000 円程度（検査期間は 1-2 日程度）必要となりますが、こうした経費は、災害時に緊急的に財政措置を行い対応していきたいと考えています</p> <p>防災学習の内容、やり方については、検討委員会の意見も聞きながら進める。市民の原子力に対する関心を高めていく場としたいため、まずは、3 か所程度でできるだけ多くの市民を集めて行いたいと考える。また、さらに細やかな学習会は、地域の住民学習会等で専門家を招いて学習してもらう方がよいと考える。</p>

早急に取り組むべき原子力災害対策に係る対策案に対する意見

委員名	委員からの意見	委員の意見に対する篠山市の考え方
D委員	安定ヨウ素剤の使用については、議論の余地があるので慎重に検討すべき	安定ヨウ素剤の服用方法等は、国が基準を設けるとしていますので、それを参考にしながら、篠山市での配布方法、服用方法等を当該委員会等で慎重に議論していただく方向で考えています。

早急に取り組むべき原子力災害対策に係る対策案に対する意見

委員名	委員からの意見	委員の意見に対する篠山市の考え方
E委員	放射線測定器の購入の前に、大飯原発の再稼働中止を訴えるべき	脱原発に向けて、関係機関・団体へ訴えているところですが、これとは別に、原発がある以上、その原発が事故を起こすことを想定して対策を講じておくことが、福島原発事故の教訓であると考えていますので、大飯原発の再稼働中止にむけての取り組みと、併せて原発事故に対する対策も行っていきたいと考えています。
	幼児、児童などの発達段階に応じた対策を講じていく必要がある。	今後、幼児、児童に対する防護対策についても、国、県の防災対策を参考にしながら、当該検討委員会で検討を加え、市独自の防災対策を検討していきたいと考えています。